

科学研究費補助金（学術創成研究費）事後評価結果

課題番号	16GS0417	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	パルス中性子源を活用した量子機能発現機構に関する融合研究		
研究代表者名 (所属・職)	池田 進（高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所・教授）		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
（評価意見）		
<p>本研究は、パルス中性子技術の革新と中性子科学の高度化を図り、さらに中性子科学の新分野を開拓することを目的としている。</p> <p>これまでに KENS から J-PARC へ移行する日本のパルス中性子源の空白期間に、国際協力という形で研究のアクティビティを維持発展させ、さらにパルス中性子技術の革新で研究成果を挙げた。これらの研究成果から、J-PARC でのいくつかの高性能ビームラインや実験装置に結実させた実績は高く評価できる。研究組織は多くの研究者で構成されており、研究期間中の論文業績も非常に多い。中性子科学の高度化という点でも期待どおりであり、パルス中性子科学の分野への貢献度については期待以上である。また、中性子科学の新分野の開拓という点でも、中性子の考古学と医学への応用が試みられるなど一定の成果が出ており、今後のさらなる研究の進展を期待したい。</p>		